

授業科目名	地域看護学	担当教員	◎川上 裕子、堀 希好、 栗原 美由紀、鈴木 早苗、 伊能 幸雄、茅谷 志律子、 笹子 洋子	科目ナンバリング NM460
必修	開講年次：4年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間	

#### 【授業概要】

将来看護職の一員として地域看護の基本的な知識を身につけ、地域で生活する人々の健康ニーズをライフサイクルや健康レベルによって理解し、疾病の予防や健康の保持増進活動を行うための基礎的知識と技術の修得を目指す。  
看護の対象を集団や地域へと拡大し、プライマリーヘルスケア看護について、グローバルな視点とローカルな視点から学ぶ。まずはプライマリーヘルスケアが持つ意味の原点にもどり、世界の社会情勢と健康問題が人々に与える影響を理解し、世界各国におけるプライマリーヘルスケア概念の理解とヘルスプロモーションに対する施策について学ぶ。  
そして、ローカルな視点からは地域において生活する人々の健康課題やそれを支える地域の資源をアセスメントし、適切な対処や理論・根拠に基づいたヘルスプロモーション活動をするための知識と施策について学ぶ。  
また、様々な社会情勢の変化がもたらす地域や職域、学校などでの健康生活課題を、そこで生活する人々が参画して組織的に解決することを推進する保健師や、看護師の地域での活動について学ぶ。

#### 【授業目的・目標】

1. グローバルな視点から見たプライマリーヘルスケア概念と看護の位置づけについて説明できる。
2. わが国におけるプライマリーヘルスケア概念の導入とその成果について評価する。
3. プライマリーヘルスケアの概念と地域看護との関係が説明できる。
4. 地域の特性と健康課題をアセスメントする方法についてニーズとアセット(資源)の概念から説明できる。
5. 地域の保健医療福祉機関におけるプライマリーヘルスケア活動について説明できる。
6. 地域の保健医療福祉機関における看護職の機能と看護のケアを改善する方法について説明できる。
7. 地域の健康課題について判断し、それに対する組織的な取り組みについての提案をする。
8. 地域特性に対応した健康な環境づくりについて話し合う。
9. 地域に位置する学校や職場等の集団生活における健康課題を把握し、働きかけする方法が理解できる。

#### 【履修条件】

特になし

#### 【授業計画】

- |  |        |
|--|--------|
| [01] 授業オリエンテーション、地域看護の概念、地域看護の歴史                 | (川上)   |
| [02] 社会環境の変化と人々の健康への影響、地域保健医療福祉行政と活動に関する法律       | (川上)   |
| [03] 地域看護活動の展開と活動に必要な諸理論                         |        |
| 活動の場の特性① 保健所における地域看護活動                           | (川上)   |
| [04] 活動の場の特性② 市町村における地域看護活動                      | (笹子)   |
| [05] 活動の場の特性③ 健康支援室・健診施設の看護                      | (栗原)   |
| [06] 活動の場の特性④ 健康維持施設(透析)の看護                      | (鈴木)   |
| [07] 活動の場の特性⑤ リハビリテーション室                         | (伊能)   |
| [08] 活動の場の特性⑥ 学校保健活動                             | (茅谷)   |
| [09] 活動の場の特性⑦ 養護教諭の職務と活動の実際                      | (茅谷)   |
| [10] 地域の生活と地域の健康課題の把握－既存資料を使用した健康関連情報の収集・地区踏査の方法 | (川上)   |
| [11] 【演習】地域の健康関連情報とその収集                          | (川上・堀) |
| [12] 【演習】地域の健康関連情報とその収集                          | (川上・堀) |
| [13] 地域看護活動に用いられる技術・技法(個人・家族)                    | (堀)    |
| [14] 地域看護活動に用いられる技術・技法(集団・地域)                    | (堀)    |
| [15] 地域看護学のまとめ、地域看護学臨地実習に向けて                     | (川上)   |

#### 【教科書】

豊島泰子著(2022)：看護師のための地域看護学(改訂新版)，ピラールプレス。

#### 【参考書】

荒賀直子・後閑容子他(2020)：公衆衛生看護学.jp(第5版)，インターメディカル。  
厚生労働統計協会(2021)：国民衛生の動向 2021/2022，厚生労働統計協会。  
厚生労働統計協会(2021)：国民の福祉と介護の動向 2021/2022，厚生労働統計協会。

#### 【評価方法・評価基準】

定期試験：70%、課題レポート：30%

#### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：新聞、メディアの情報等に関心をもち、現代社会における人々の暮らしや健康課題について理解しておく。地域看護に関連のある科目を復習して授業に臨む。  
事後学習：各回の授業内容を教科書や授業時配布資料等で復習しておく。

#### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅵ、ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅶ、国際的視野の育成と地域貢献能力に関連する

#### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

#### 【備考】

本科目は、4年次後期の地域看護学実習に直結する重要な科目である。